

- ① $\triangle ABC$ で、辺 BC , CA , AB の中点を、それぞれ L , M , N とする。 $\overrightarrow{AB} = \vec{b}$, $\overrightarrow{AC} = \vec{c}$ とするとき、次のベクトルを \vec{b} , \vec{c} で表せ。(各2点×4=8点)

(1) \overrightarrow{BC}

(2) \overrightarrow{AL}

- ⑥ 1 辺の長さが 1 である正方形 $ABCD$ において、次の内積を求めよ。(各2点×4=8点)

(1) $\overrightarrow{AB} \cdot \overrightarrow{AC}$

(2) $\overrightarrow{AB} \cdot \overrightarrow{BC}$

(3) $\overrightarrow{CB} \cdot \overrightarrow{DA}$

(4) $\overrightarrow{CA} \cdot \overrightarrow{DC}$

(3) \overrightarrow{CN}

(4) \overrightarrow{MN}

- ② $\vec{a} = (1, 2)$, $\vec{b} = (2, 1)$ であるとき、ベクトル $\vec{c} = (11, 10)$ を $s\vec{a} + t\vec{b}$ の形に表せ。(2点)

- ③ $\vec{a} = (2, x)$, $\vec{b} = (x+1, 3)$ とする。(各2点×2=4点)

(1) $2\vec{a} + \vec{b}$ と $\vec{a} - 2\vec{b}$ が垂直になるように、 x の値を定めよ。

(2) $2\vec{a} + \vec{b}$ と $\vec{a} - 2\vec{b}$ が平行になるように、 x の値を定めよ。

- ⑦ 次のベクトル \vec{a} , \vec{b} の内積と、そのなす角 θ を求めよ。(各2点×2=4点)

(1) $\vec{a} = (2, 1)$, $\vec{b} = (4, -8)$

(2) $\vec{a} = (-\sqrt{3}, 1)$, $\vec{b} = (1, -\sqrt{3})$

- ⑧ $|\vec{a}| = 2$, $|\vec{b}| = \sqrt{3}$, $|\vec{a} - \vec{b}| = 1$ であるとき、次の問いに答えよ。(各2点×2=4点)

(1) \vec{a} と \vec{b} のなす角 θ を求めよ。

(2) $|2\vec{a} - 3\vec{b}|$ の値を求めよ。

- ④ 3 点 $(5, 1)$, $(1, 2)$, $(2, 5)$ を頂点とする平行四辺形の、第 4 の頂点の座標を求めよ。

(3点)

- ⑨ $|\vec{a}| = |\vec{b}| = 2$, $|\vec{a} + \vec{b}| = 2$ のとき、 $\vec{a} + \vec{b}$ と $\vec{a} + t\vec{b}$ が垂直になるように、実数 t の値を定めよ。(2点)

- ⑤ $\vec{a} = (10, 5)$, $\vec{b} = (1, 2)$ とする。このとき、 $|\vec{a} + t\vec{b}|$ の最小値とそのときの実数 t の値を求めよ。(2点)

(2点)

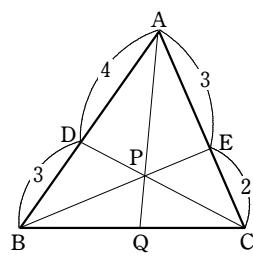
- ⑩ 次のベクトルを成分表示せよ。(各2点×2=4点)

(1) $\vec{a} = (-1, \sqrt{3})$ に垂直な単位ベクトルを求めよ。

(2) $\vec{b} = (-1, 3)$ に平行な単位ベクトル

<p>[11] 平行四辺形 ABCD の対角線 BD の 3 等分点を, B に近い方から順に E, F とする。 このとき, 四角形 AECF は平行四辺形であることを証明せよ。 (3点)</p> <p>[12] 3 点 A(\vec{a}), B(\vec{b}), C(\vec{c}) を頂点とする $\triangle ABC$において, 辺 BC, CA, AB を 3 : 4 に外分する点をそれぞれ L, M, N とする。また, $\triangle LMN$ の重心を G とする。 (1) 点 G の位置ベクトル \vec{g} を \vec{a}, \vec{b}, \vec{c} を用いて表せ。 (3点) (2) 等式 $\overrightarrow{AL} + \overrightarrow{BM} + \overrightarrow{CN} = \vec{0}$ が成り立つことを証明せよ。 (3点)</p> <p>[13] $AB=5$, $BC=6$, $CA=7$ である $\triangle ABC$ の内心を I とする。 $\overrightarrow{AB}=\vec{b}$, $\overrightarrow{AC}=\vec{c}$ とすると, き, \overrightarrow{AI} を \vec{b}, \vec{c} を用いて表せ。 (3点)</p> <p>[14] $OA=2\sqrt{2}$, $OB=\sqrt{3}$, $\overrightarrow{OA} \cdot \overrightarrow{OB}=2$ である $\triangle OAB$ の垂心を H とするとき, \overrightarrow{OH} を \overrightarrow{OA}, \overrightarrow{OB} で表せ。 (3点)</p>	<p>[15] $\triangle ABC$ で, 辺 BC を 2 : 1 に外分する点を P, 辺 CA の中点を Q, 辺 AB を 1 : 2 に内分する点を R とする。 (1) 3 点 P, Q, R は一直線上にあることを証明せよ。 (3点) (2) $PQ : QR$ を求めよ。 (2点)</p> <p>[16] $\triangle ABC$ と点 P について, 等式 $2\overrightarrow{PA} + 3\overrightarrow{PB} + 4\overrightarrow{PC} = \vec{0}$ が成り立っている。直線 AP と辺 BC の交点を D とするとき, 次のものを求めよ。 (1) $BD : DC$ (3点) (2) $AP : PD$ (2点) (3) 面積の比 $\triangle PBC : \triangle PCA : \triangle PAB$ (3点)</p> <p>[17] $AB=5$, $AC=4$, $\angle A=60^\circ$ の $\triangle ABC$ の頂点 A から辺 BC に下ろした垂線を AH とするとき, \overrightarrow{AH} を \overrightarrow{AB}, \overrightarrow{AC} で表せ。 (3点)</p>
---	---

- 18 $\triangle ABC$ において、辺 AB を $4:3$ に内分する点を D 、
辺 AC を $3:2$ に内分する点を E とし、2つの線分
 CD , BE の交点を P とする。また、 AP の延長と辺
 BC の交点を Q とする。(各3点×2=6点)
 $\overrightarrow{AB}=\vec{b}$, $\overrightarrow{AC}=\vec{c}$ とするとき
(1) \overrightarrow{AP} を \vec{b} , \vec{c} で表せ。



- 19 $OA=3$, $OB=2$, $\angle AOB=60^\circ$ である $\triangle OAB$ において、その外心を P とする。
 $\overrightarrow{OA}=\vec{a}$, $\overrightarrow{OB}=\vec{b}$ とするとき、 \overrightarrow{OP} を \vec{a} , \vec{b} を用いて表せ。(3点)

- 20 3点 $O(0, 0)$, $A(2, 1)$, $B(1, 3)$ がある。実数 s , t が次の条件を満たしながら変化する
とき、 $\overrightarrow{OP}=s\overrightarrow{OA}+t\overrightarrow{OB}$ で表される点 P の存在範囲を図示せよ。(各2点×2=4点)
(1) $3s+4t=12$

(2) $2s+3t \leq 6$, $s \geq 0$, $t \geq 0$

- 21 ベクトルを用いて、次の直線の方程式を求めよ。(各2点×3=6点)

(1) 点 $A(1, 2)$ を通り、ベクトル $\vec{d}=(-6, 2)$ に平行な直線

(2) 2点 $A(1, 2)$, $B(3, 1)$ を通る直線

(3) 点 $A(1, 2)$ を通り、ベクトル $\vec{n}=(1, -2)$ に垂直な直線

(2) \overrightarrow{AQ} を \vec{b} , \vec{c} で表せ。

- 22 2直線 $2x+4y+1=0$, $x-3y+7=0$ のなす角 α を求めよ。ただし、 $0^\circ \leq \alpha \leq 90^\circ$ とする。
(3点)

- 23 平面上で、原点 O と異なる定点 A に対して、動点 P を考える。 $\overrightarrow{OA}=\vec{a}$, $\overrightarrow{OP}=\vec{p}$ が次の
条件を満たすとき、動点 P はどのような図形を描くか。(各3点×2=6点)

(1) $|\vec{p}| = |\vec{p} - \vec{a}|$

(2) $|\vec{p}|^2 - 2\vec{a} \cdot \vec{p} = 0$